

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【公表番号】特表2015-512807(P2015-512807A)

【公表日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-029

【出願番号】特願2014-558784(P2014-558784)

【国際特許分類】

B 3 2 B 17/06 (2006.01)

G 0 2 B 5/00 (2006.01)

B 3 2 B 3/10 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 17/06

G 0 2 B 5/00 Z

B 3 2 B 3/10

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月4日(2015.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 8】

【表 4】

表 2

試料	屈折率			塗布された 塗料	色		
	結合剤	微小球	差		L * 値	a * 値	b * 値
E X 3	1.542	1.458	0.083	黒色	18.67	0	-0.28
E X 4	1.542	1.470	0.072	黒色	18.21	-0.08	-0.26
C E 4	1.542	1.520	0.022	黒色	21.28	-0.05	-0.21
C E 5	1.542	1.570	-0.028	黒色	21.56	-0.09	-0.12

本開示は以下も包含する。

[ 1 ] 少なくとも第 1 の表面を備える物品であって、前記第 1 の表面が、

( a ) 第 1 の結合剤層と、

( b ) 前記第 1 の結合剤層内に少なくとも部分的に包埋される複数の透明微小球と、を有し、

前記透明微小球が、前記第 1 の結合剤層の屈折率より小さい屈折率を有し、

前記複数の透明微小球が少なくとも 5  $\mu$ m の平均直径を有する、物品。

[ 2 ] 前記複数の透明微小球が、1.490 以下の屈折率を有する、上記態様 1 に記載の物品。

[ 3 ] 前記複数の透明微小球内の透明微小球が少なくとも 5 重量 % の酸化ホウ素を含む、上記態様 1 ~ 2 のいずれかに記載の物品。

[ 4 ] 前記物品又は前記結合剤層の少なくとも片方が顔料を含む、上記態様 1 ~ 3 のいずれかに記載の物品。

[ 5 ] 前記物品又は前記結合剤層の少なくとも片方が顔料を含む、上記態様 1 ~ 4 のいずれかに記載の物品。

[ 6 ] 前記物品が化粧フィルム、保護フィルム、転写物品の少なくとも 1 つである、上記態様 1 ~ 5 のいずれかに記載の物品。

[ 7 ] 前記透明微小球が接着強化剤を用いて処理される、上記態様 1 ~ 6 のいずれかに記載の物品。

[ 8 ] 前記第 1 の結合剤層内の結合剤の前記屈折率と前記透明微小球の前記屈折率との間の差が少なくとも 0 . 0 1 5 である、上記態様 1 ~ 7 のいずれかに記載の物品。

[ 9 ] 転写物品であって、

( a )

( i ) 支持層と、

( i i ) 前記支持層に結合される熱可塑性剥離層と、備える、転写キャリアと、

( b ) 前記支持層と反対側の前記熱可塑性透明微小球剥離層の面に形成される複数の透明微小球の層と、を備え、前記複数の透明微小球が約 1 . 4 9 0 以下の屈折率を有する、転写物品。

[ 1 0 ] ( c ) 前記熱可塑性剥離層の反対側にある前記複数の透明微小球の面に結合剤層を更に備える、上記態様 9 に記載の転写物品。

[ 1 1 ] 前記第 1 の結合剤層には接着剤がある、上記態様 9 ~ 1 0 のいずれかに記載の転写物品。

[ 1 2 ] 前記透明微小球が接着強化剤により処理される、上記態様 9 ~ 1 1 のいずれかに記載の転写物品。

[ 1 3 ] 前記第 1 の結合剤層が不連続であり、かつ前記結合剤層が基材層に結合することができる、上記態様 9 ~ 1 2 のいずれかに記載の転写物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも第 1 の表面を備える物品であって、前記第 1 の表面が、

( a ) 第 1 の結合剤層と、

( b ) 前記第 1 の結合剤層内に少なくとも部分的に包埋される複数の透明微小球と、を有し、

前記複数の透明微小球が少なくとも 5  $\mu$  m の平均直径及び 1 . 4 9 未満の屈折率を有する、物品。

【請求項 2】

少なくとも第 1 の表面を備える物品であって、前記第 1 の表面が、

( a ) 第 1 の結合剤層と、

( b ) 前記第 1 の結合剤層内に少なくとも部分的に包埋される複数の透明微小球と、を有し、

前記透明微小球が、前記第 1 の結合剤層の屈折率より小さい屈折率を有し、

前記複数の透明微小球が少なくとも 5  $\mu$  m の平均直径を有する、物品。

【請求項 3】

転写物品であって、

( a )

( i ) 支持層と、

( i i ) 前記支持層に結合される熱可塑性剥離層と、備える、転写キャリアと、

(b) 前記支持層と反対側の前記熱可塑性透明微小球剥離層の面に形成される複数の透明微小球の層と、を備え、前記複数の透明微小球が約 1 . 4 9 未満の屈折率を有する、トランスファー物品。